

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「アメリカン・ドリーム・ファンド」は去る2026年6月12日に第19期の決算を行いました。

当ファンドは主に米国小型成長株マザーファンドに投資を行い、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ってまいりました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第19期末 (2026年6月12日)

基準価額	20,375円
純資産総額	4,269百万円
第19期	
騰落率	43.2%
分配金(税込み)合計	500円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

アメリカン・ドリーム・ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第19期(決算日:2026年6月12日)

作成対象期間(2025年6月13日~2026年6月12日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年6月13日～2026年6月12日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年6月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものととなります。
- (注4) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注5) 参考指数はラッセル2000グロースインデックス(円換算ベース)です。詳細は、最終ページの<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、「米国小型成長株マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)を親投資信託とするファミリーファンド方式で運用しております。

当期は、運用の基本方針に従いマザーファンドを高位に組み入れた運用を行い、実質的に米国小型株に投資しました。テクノロジー・セクターおよび生産者向け耐久財セクターで銘柄選択がプラス要因となった一方、一般消費財・サービスや金融サービスなど幅広いセクターで銘柄選択の効果が得られませんでした。また、為替の円安/米ドル高はプラスに寄与しました。当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は前期末比で+43.2%となりました。

1万口当たりの費用明細

(2025年6月13日～2026年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	456	2.585	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(305)	(1.727)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(136)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(16)	(0.088)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.071	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(12)	(0.071)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	19	0.105	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0.053)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(6)	(0.035)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	487	2.761	
期中の平均基準価額は、17,635円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

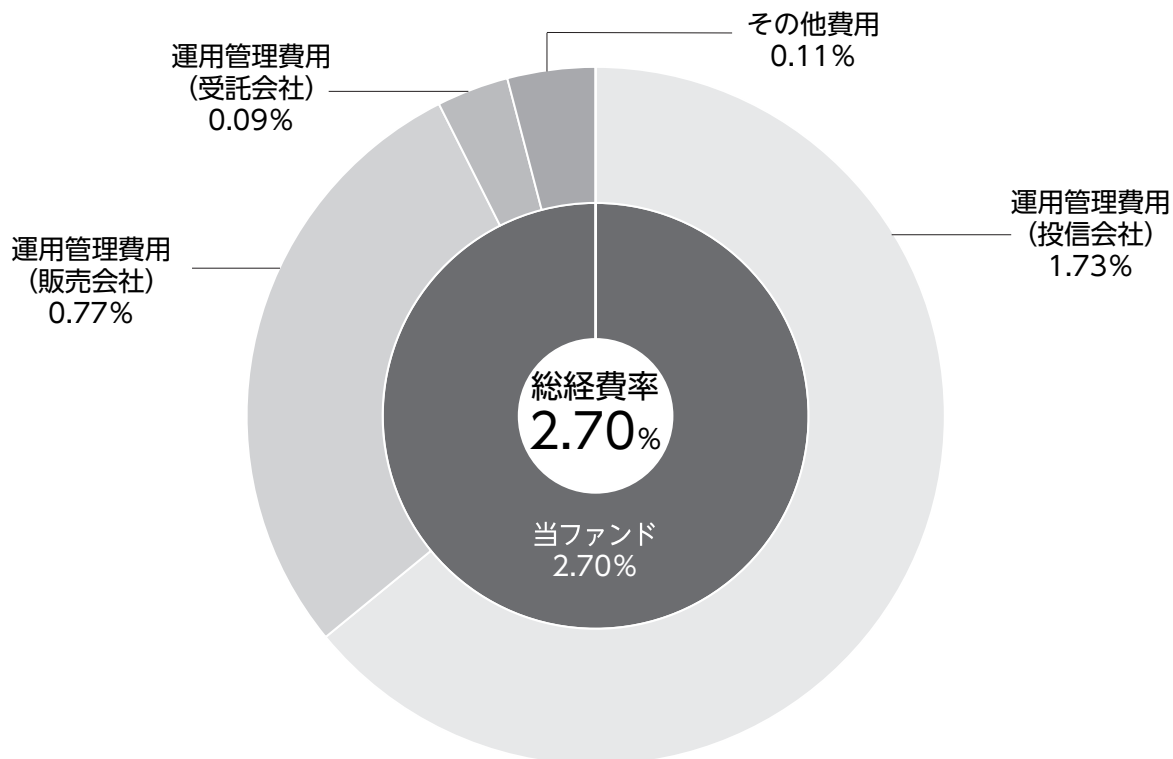
(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.70%です。**



(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

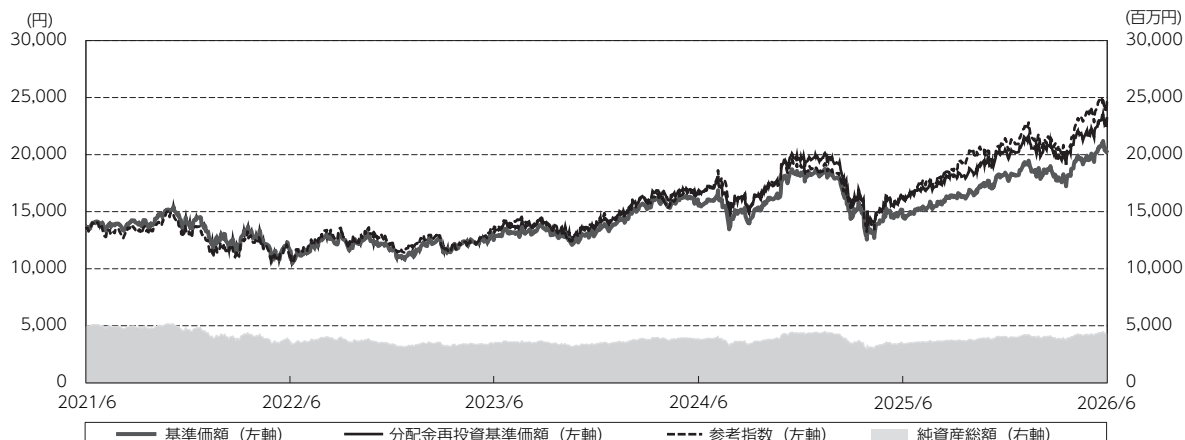
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年6月12日～2026年6月12日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年6月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
- (注4) 参考指数はラッセル2000グロースインデックス(円換算ベース)です。詳細は、最終ページの＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

	2021年6月14日 決算日	2022年6月13日 決算日	2023年6月12日 決算日	2024年6月12日 決算日	2025年6月12日 決算日	2026年6月12日 決算日
基準価額 (円)	13,584	11,612	12,511	15,527	14,575	20,375
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	500	500	500	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△14.5	12.0	28.1	△2.9	43.2
参考指数騰落率 (%)	—	△19.1	22.8	24.6	△2.0	49.3
純資産総額 (百万円)	4,859	3,692	3,390	3,737	3,399	4,269

- (注1) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 参考指数はラッセル2000グロースインデックス(円換算ベース)です。詳細は、最終ページの＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

投資環境

(2025年6月13日～2026年6月12日)

<米国株式市場>

- ・期首（2025年6月）～9月：米国株式市場は上昇しました。相互関税を巡る各国との協議進展に伴って市場参加者のリスク選好が強まる中、ハイテク企業の好調な決算内容が評価された他、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ再開への期待も追い風となり、米国株式市場は上昇基調で推移しました。
- ・10月～12月：米国株式市場は上昇しました。米中貿易摩擦の激化に対する警戒や、過熱感が意識されたハイテク株の利益確定売りを受け下落する場面も見られたものの、史上最長期間となった政府機関の一部閉鎖が終了した他、FRBによる利下げ再開などが好感され、米国株式市場は小幅に上昇しました。
- ・2026年1月～3月：米国株式市場は下落しました。AI（人工知能）開発スタートアップのアンソロピック（Anthropic）が新たなAIエージェントを公開し、既存ソフトウェア需要の鈍化が懸念された他、米国およびイスラエルによるイランへの軍事攻撃に起因する中東情勢の緊迫化を背景に、世界的な石油・ガスの価格上昇とサプライチェーンの混乱が生じたことから、米国株式市場は下落しました。
- ・4月～期末（2026年6月）：米国株式市場は上昇しました。米国とイランが停戦に合意したことでリスク選好が高まる中、ハイテク企業の業績拡大や、ハイパースケーラー（世界規模で超巨大データセンターを運営し、高性能なクラウドサービスを提供するIT企業）によるAIインフラへの設備投資額の引き上げが支援材料となり、米国株式市場は上昇しました。

<為替市場>

- ・期中の円／米ドル相場は大幅な円安／米ドル高となり、基準価格の押し上げ要因となりました。
- ・期首（2025年6月）～12月：為替相場は円安／米ドル高に大きく振れました。期首から9月にかけては、日本の財政拡張懸念や日本銀行の利上げ慎重姿勢が円安要因となった一方、軟調な経済指標を受けたFRBの利下げ再開観測は米ドル安要因となり、一進一退の展開が続きました。その後は、自民党新総裁に高市氏が選出されたことを受け、財政悪化への警戒から円安／米ドル高が進み、最終的に円／米ドル相場は1ドル156円台で年末を迎えました。
- ・2026年1月～期末（2026年6月）：円／米ドル相場は円安／米ドル高が進みました。1月下旬は、日米当局が相次いで為替介入の前段階であるレートチェックに動いたとの見方が広がり、急速に円高／米ドル安が進みました。但しその後、高市首相から円安容認ともとれる発言があったことに加え、中東情勢の緊迫化をきっかけとした「有事のドル買い」や、インフレ再燃への懸念に伴う米国長期金利の上昇を背景に、円安／米ドル高基調で推移しました。そして5月には、大型連休中に日本政府・日本銀行による為替介入が実施され一時は1米ドル155円台まで円高が進むも、日本の実質金利が依然としてマイナス圏にあることから再び円安／米ドル高が進展し、最終的に1ドル160円で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月13日～2026年6月12日)

<アメリカン・ドリーム・ファンド>

当ファンドは、マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<米国小型成長株マザーファンド>

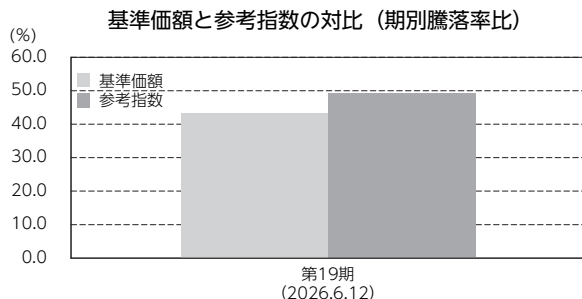
マザーファンドは、米国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行いました。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズを重視し、優れたイノベーション及び堅調な業績拡大をベースにした持続的成長力を持つ中小型企业への選別投資を行い、中長期的に優れたリターンの獲得に努めました。株式組入比率については、当期を通じて高位の水準を維持しました。テクノロジー・セクターおよび生産者向け耐久財セクターで銘柄選択がプラス要因となった一方、一般消費財・サービスや金融サービスなど幅広いセクターで銘柄選択の効果が得られませんでした。また、為替の円安／米ドル高はプラスに寄与しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月13日～2026年6月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



- (注1) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）です。
 (注2) 参考指数はラッセル2000グロースインデックス（円換算ベース）です。詳細は、最終ページの＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

分配金

(2025年6月13日～2026年6月12日)

収益分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市場動向を勘案し、当期は1万口あたり500円（税込み）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2025年6月13日～ 2026年6月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	500 2.395%
当期の収益	500
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,375

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アメリカン・ドリーム・ファンド>

当ファンドでは、引き続き運用の基本方針に基づき、マザーファンド受益証券を高位に組み入れた運用を行っていく方針です。

<米国小型成長株マザーファンド>

- ・ 2026年6月に入り、米国とイランが戦闘終結に向けた覚書に合意し、エネルギー価格が低下するとともにインフレ再燃への懸念も和らぎつつあります。こうした中で、現地16-17日にはウォッシュ新FRB議長にとって就任後初となるFOMC（米国連邦公開市場委員会）が開催される為、市場参加者はインフレや経済全般に関する同氏の発言に注目しており、株式市場のボラティリティ（価格変動率）が高まる可能性には留意する必要があるとみています。
- ・ 他方、6月12日には宇宙開発や衛星通信サービスを手掛けるスペースX（SpaceX）が史上最大規模となるIPO（新規株式公開）を実施し、株価は公募価格を上回る水準で推移しています。ただし、IPOへの参加資金捻出に向けて、株式市場では広範な銘柄に換金売りが広がったとみられており、生成AI「Claude」を開発するアンソロピック（Anthropic）や「ChatGPT」を手掛けるオープンAI（OpenAI）もIPOを申請していることを踏まえれば、今後も大型IPOに伴う需給悪化には注意が必要と考えます。
- ・ 当ファンドは、主要ハイテク企業のAIインフラ投資から恩恵を受ける半導体や電子部品などのAIデータセンター関連銘柄を参考指数対比でオーバーウェイトしています。今後数年間にわたり、投資家は同関連銘柄に強気な姿勢を維持すると予想しており、当ファンドも然るべきエクスポージャー（保有割合）を確保する方針です。また、AIエージェントによってビジネスモデルが破壊されるとの懸念からソフトウェア銘柄には売り圧力がかかっていますが、AIを活用して競争優位性を発揮できると判断した銘柄には強気の見方を堅持しています。更に、フィンテックや航空宇宙・防衛といったAI以外の有望分野への投資も継続しポートフォリオの分散を図ることで、中長期的に優れたリスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

お知らせ

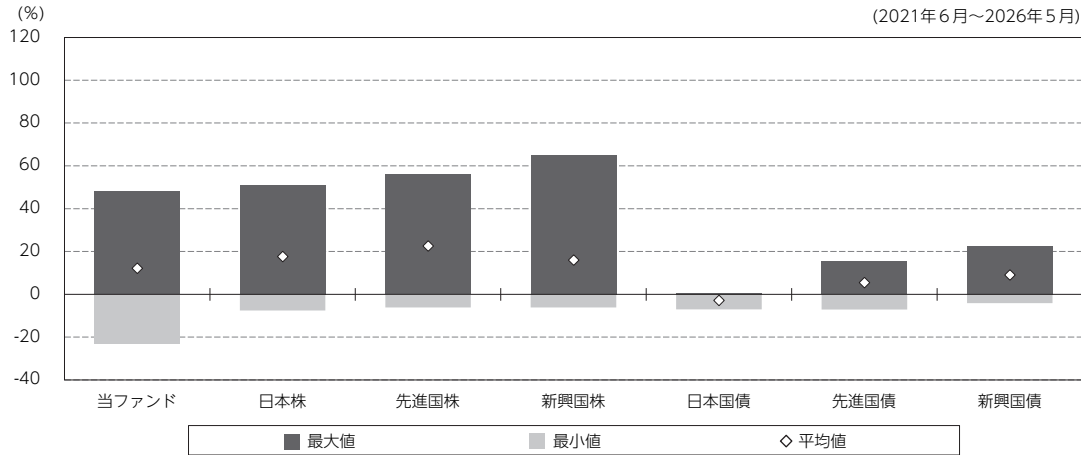
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	原則として無期限です。 2008年6月12日にクローズド期間が明けました。	
運 用 方 針	当ファンドは、主に米国小型成長株マザーファンド受益証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	アメリカン・ドリーム・ファンド	主として米国小型成長株マザーファンド受益証券に投資します。
	米国小型成長株マザーファンド	主として米国の株式に投資します。
運 用 方 法	①主として米国小型成長株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざして積極的な運用を行います。なお米国以外の企業が発行する米国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。）に上場、または金融商品取引所に準ずる市場で取引されている株式（米国預託証書（ADR）を含みます。以下「ADR等」といいます。）に投資する場合があります。 ②米国株式（ADR等を含みます。）への実質投資比率は高位を維持することを基本とします。 ③実質組入外貨建て資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 ④投資信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するため、わが国において行われる有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）並びに委託者が適当と認める外国の金融商品取引所等におけるこれらと類似の取引を行うことができます。 ⑤資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。	
分 配 方 針	①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益（繰越分およびみなし配当等収益を控除）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除）等の全額とします。 ②分配対象額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.1	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 23.2	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	12.2	17.6	22.6	16.0	△ 2.9	5.5	9.0

- (注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注2) 2021年6月から2026年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数
先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)
新興国株…Morningstar 新興国株式指数
日本国債…Morningstar 日本国債指数
先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年6月12日現在)

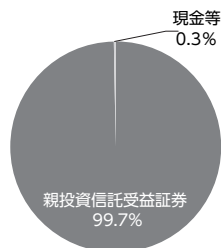
○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
米国小型成長株マザーファンド	% 99.7
組入銘柄数	1 銘柄

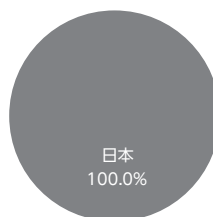
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

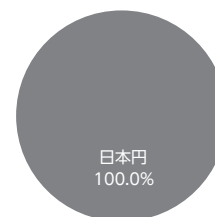
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

純資産等

項目	第19期末
	2026年6月12日
純資産総額	4,269,215,889円
受益権総口数	2,095,317,448口
1万口当たり基準価額	20,375円

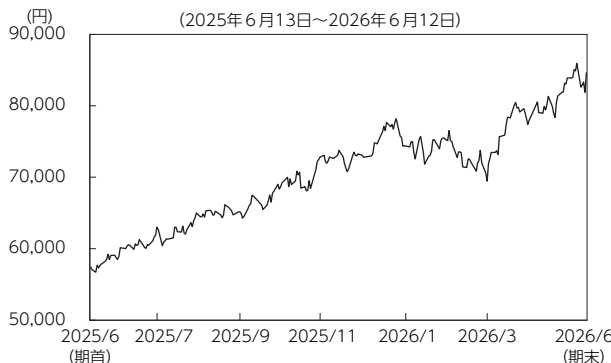
(注) 期中における追加設定元本額は85,000,451円、同解約元本額は322,360,538円です。

組入上位ファンドの概要

米国小型成長株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年6月13日～2026年6月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年6月13日～2026年6月12日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	50円 (50)	0.071% (0.071)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 (37) (0)	0.053 (0.053) (0.001)
合計	88	0.124

平均基準価額は、70,635円です。

- (注1) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第4位を四捨五入してあります。

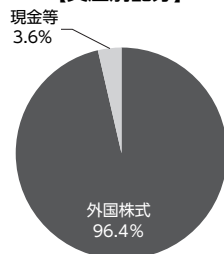
【組入上位10銘柄】

(2026年6月12日現在)

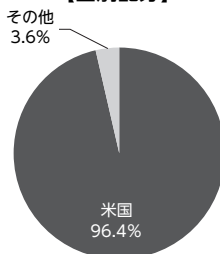
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MACOM TECHNOLOGY SOL	情報技術	米ドル	米国	4.2%
2	MERCURY SYSTEMS INC	資本財・サービス	米ドル	米国	3.5
3	FIRSTCASH HOLDINGS	金融	米ドル	米国	3.5
4	GUARDANT HEALTH INC	ヘルスケア	米ドル	米国	3.5
5	CREDO TECHNOLOGY GRO	情報技術	米ドル	米国	3.4
6	FTAI AVIATION LTD	資本財・サービス	米ドル	米国	3.4
7	SEMTECH CORP	情報技術	米ドル	米国	3.1
8	WOODWARD INC	資本財・サービス	米ドル	米国	3.0
9	STERLING INFRASTRUCT	資本財・サービス	米ドル	米国	2.5
10	FABRINET	情報技術	米ドル	米国	2.4
組入銘柄数		57 銘柄			

- (注1) 比率は、当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

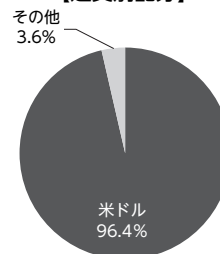
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<当ファンドの参考指数について>

参考指数（ラッセル2000グロースインデックス（円換算ベース））は、ラッセル2000グロースインデックス（配当込み米ドル建て：為替ヘッジなし）をもとに委託者が独自に計算したもので、当初設定時を10,000として指数化しています。

当該指数に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は当該指数等の開発元、または公表元に帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。